

「小児神経筋性側弯症患者の骨盤における三次元的左右非対称性に関する研究」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター整形外科では「小児神経筋性側弯症」の患者さんを対象に「小児神経筋性側弯症患者の骨盤における三次元的左右非対称性」に関する研究を実施しています。この研究は神経筋性側弯症手術治療に役に立つと考えております。

研究課題名	小児神経筋性側弯症患者の骨盤における三次元的左右非対称性に関する研究
研究の対象	2012年1月～2023年5月に当科で神経筋性側弯症手術を受けた患児
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	小児神経筋性側弯症患者の手術治療において、手術時に利用される骨盤スクリューの刺入に難渋することが少なくありません。その理由として、正常形態とは異なる神経筋性側弯症児の骨盤形態異常が知られていますが、それを詳しく解析した報告は過去ほとんど無く、調査する価値があります。 過去に手術した患者様の3DCTデータをコンピュータ解析し、その形態異常の詳細を調査し、その特徴や重症度との相関性などを調べます。
研究期間	2023年6月～2026年3月
研究に使用する試料・情報の項目	<ul style="list-style-type: none"> 骨盤を含めて撮影された3DCTデータ 患者基礎データ(年齢、性別、身長、体重、GMFCSレベル、既往歴、家族歴) 手術方法、固定範囲、使用インプラントの種類 術前の脊椎変形(単純X線像で計測したCobb角) 対照群では、胸腹部～骨盤CT検査を行った理由となる基礎疾患名
試料・情報の取得方法	電子カルテよりデータを取得します
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	整形外科 部長 中村 直行

本研究はヘルシンキ宣言(2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版)及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(2021年6月30日施行2022年3月10日一部改正)、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用

し、個人情報外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、統計解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
整形外科 河邊有一郎
Tel : 045-711-2351 内線 2212

相談窓口 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212